

11/8 木

対立候補の悪評 河井 元法相指示 自民 ある ネット世論誘導

野党を繰り返し攻撃して
おたSNSアカウント「D
a.p.p.i.」。運営会社が自
民党と取引があることで注
目を集めています。この他
にも、自民党の国会議員が
企業を使い、インターネット
上で世論誘導を図ったと
される例があります。

2019年7月投開票の

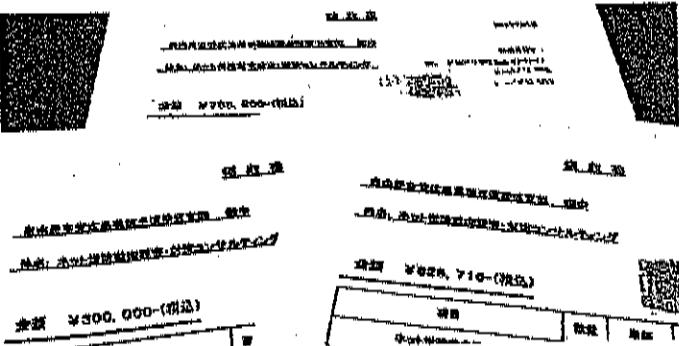
参院選で地元議員に多額
の現金を配布したとして実
行元法相に逮捕前に離党

刑判決が確定した、河井克
行元法相と妻の斎藤元
議院議員がそれぞれ代表者の
自民党支部が、政治資金収支
報告書に添付して提出したイ
ンターネット業者からの領收
書の写し(画像を一部加工)

河井克行元法相と妻の斎藤元
議院議員がそれぞれ代表者の
自民党支部が、政治資金収支
報告書に添付して提出したイ
ンターネット業者からの領收
書の写し(画像を一部加工)

のかれた、元参院議員一同、有罪確定
の公判。検察官が「ネット
ト広報コンサルタント」業
者の供述調書を読み上げま
した。

候補のイメージを悪くする
工夫をした。架空の人物を
名乗り、ブログに、対立候
補らが斎藤氏を落選させよ
うはじめているような投
稿をした」としています。
「(投稿) 内容は独断
ではなく、克行氏の掲示に
従つた」「克行氏からは継
続して仕事を請け負つてい
た。克行氏の選挙でもSNS
などで対立候補のイメー
ジを悪くするような記事を
出した」



現金配布の「証拠隠し」も

「河井元法相が依頼」と業者

一面のひだり

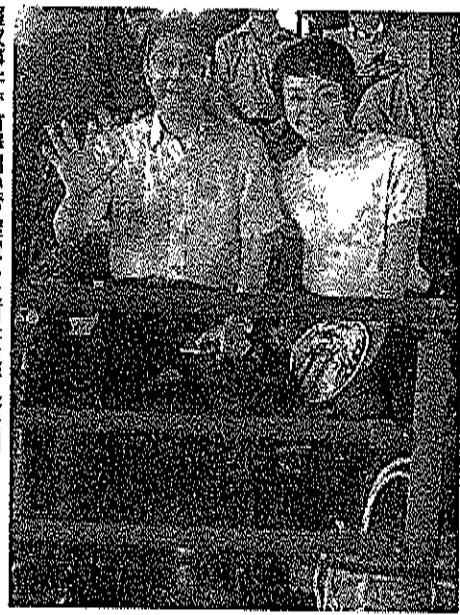
2010年の衆院選で、河井克行元法相は、河井夫妻の依頼を受け、インターネット上で「対立候補のイメージを悪くする」投稿をしていたといふ。河井夫婦は参院選で、衆院選でも河井元法相による現金配布の「証拠隠し」に陥りました。

著者：元法相の妻の森里千代参院議員＝同＝の公刊で読み上げられた供述調書の中で

は、「元法相による現金配布の「証拠隠し」に陥りました」とみられる証言をしていました。

河井夫婦は参院選で、衆院選に入って元法相が東京、元議員は執行猶予付き有罪判決を受け、いずれも確定しています。

呼び出されて…



貴重な事件で有罪判決が確定した河井克行元法相（左）と森里元参院議員＝2010年8月11日、大阪府民会議（実行委員会）（一部加工）

データ消去 ■ スタッフ監視

それに先立つ19年秋、河井議員が選舉力一運動員に違法な報酬を払っていたことが週刊誌報道で発覚。元法相は闇営を説いてしまった。業者は同年11月上旬に東京・赤坂の元法相の議員宿舎に呼び出され、パソコン内にあった現金配布先のリストのデータ消去を依頼

されたところである。

他の議員とも

ある業者は、「同じ下旬、元法相の事務所スタッフの監視を頼まれた」とも証言。スタッフが使う端末のキーボード操作の記録を、別の場所からネット上で確認できるソフトを導入するよう依頼され、当時の業者は闇営を説いてしまった。

その後、元法相が代表者

を受け取って国会議員会館や広島県内の河井夫妻の田宅に赴き、それぞれの端末からデータ消去ソフトを使つて「復元できないよう消去作業をした」と説明。元法相側から「現金を受け取った」と述べてこましが。「ホームページ対策」されたところである。

業者は元法相から鍵なしの黒元議員への票の取り扱いの問題で毎月現金計約2000万円を配布しながら、公職選舉法違反の罪で20年7月に起訴されました。今年に入って元法相が東京、元議員は執行猶予付き有罪判決を受け、いずれも確定しています。

下村博文元文科相が代表者の自民党支部は17年に「調査費」6万8000円の支出を記載。小池百合子元経産相の資金管理団体は19年」「ホームページ対策」「ンサルティンク」として33万円を記載しました。

中山泰秀前防衛副大臣が代表者を務める自民党大阪府支部連合会も16年に「調査費」108万円の支出を記載。大西英男前國交副大臣が代表者の自民党支部は16年と17年に「調査費」計180万6000円を支出しました。